

令和4年8月 斐伊川水系水質情報

令和4年8月(宍道湖1日・中海23日採水)							単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部	
C O D	全層	4.4	△	平 年 並 み	4.3	×	やや高い	5.5	△ 平 年 並 み
全窒素	上層	0.49	△	平 年 並 み	0.52	×	やや高い	0.54	△ 平 年 並 み
全リン	上層	0.066	△	平 年 並 み	0.060	×	やや高い	0.067	△ 平 年 並 み
Chl-a	上層	8.6	○	良 好	16	△	平 年 並 み	13	△ 平 年 並 み
塩化物イオン	上層	4,300	×	やや高い	10,200	△	平 年 並 み	10,500	△ 平 年 並 み
	下層	5,000	×	やや高い	13,900	○	やや低い	12,300	△ 平 年 並 み
溶存酸素	上層	9.4		平 年 並 み	9.5		平 年 並 み	10.4	平 年 並 み
	下層	3.8		やや低い	4.1		平 年 並 み	7.8	平 年 並 み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	4.3	横ばい	3.5	上昇	4.8	やや上昇
全窒素	上層	0.41	やや上昇	0.29	上昇	0.39	やや上昇
全リン	上層	0.055	横ばい	0.030	上昇	0.060	横ばい

宍道湖の透明度は1.9mから2.6mと上昇し、非常に良好。中海の透明度は3.8mから2.5mと下降し、平年並み。米子湾の透明度は2.2mから1.9mとやや下降し、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値+標準偏差値 10年間平均値 平均値-標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%